

企 画 展

渋沢栄一と 王子製紙株式会社

～国家社会の為に此の事業を起す～



2013年3月16日(土)～5月26日(日)

- 開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日：3/18・21・25、4/1・8・15・22・30
5/7・13・20
- 入館料：一般300円(240円)／小中高生100円(80円)
*()内は20名以上の団体料金
三館共通券 一般720円／小中高生240円

主催：渋沢史料館
後援：王子ホールディングス株式会社
公益財団法人 紙の博物館



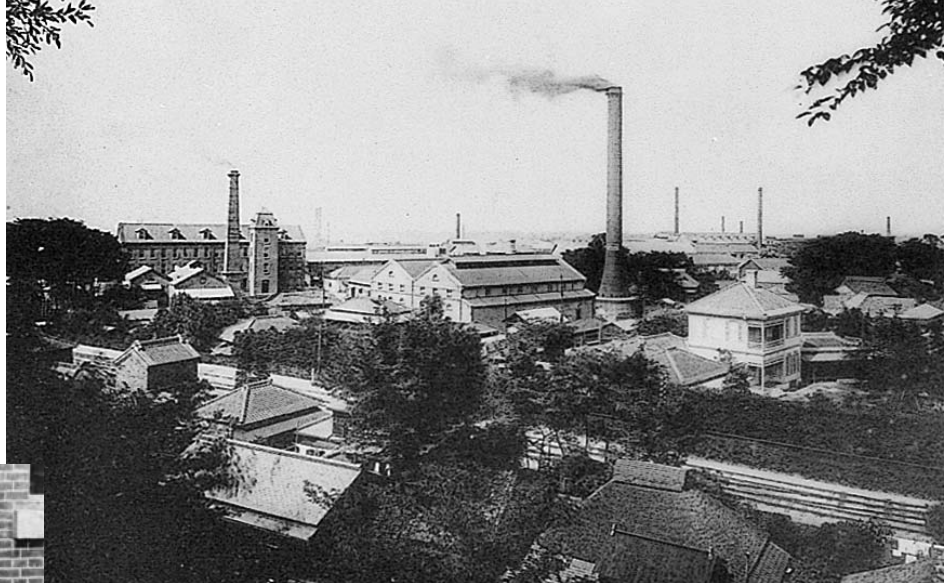
公益財団法人 渋沢栄一記念財団
渋沢史料館
Shibusawa Memorial Museum



掲載資料：武陽王子飛鳥山真景(部分) 鉄斎菅真郷画 明治21年(1888)
独立行政法人 国立印刷局王子工場所蔵



渋沢栄一 明治16年(1883)



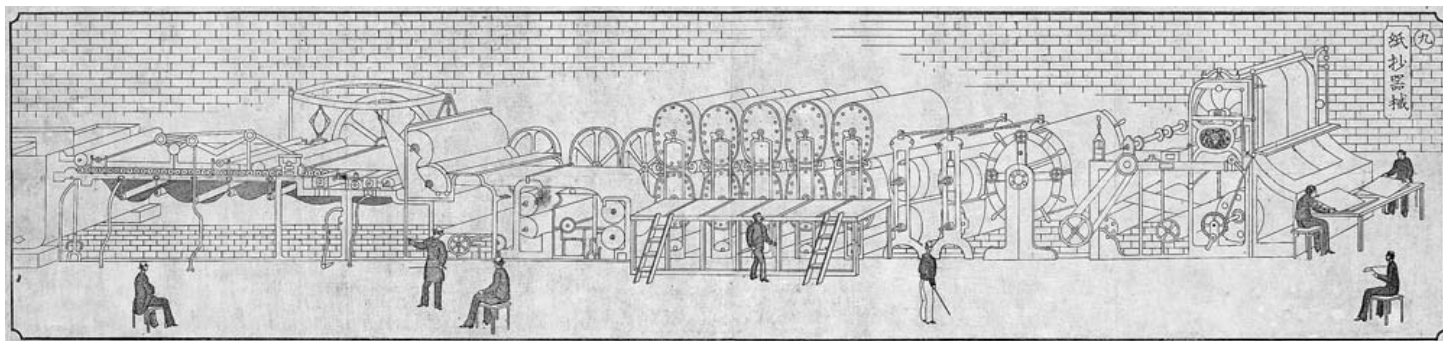
飛鳥山よりみた王子製紙株式会社 明治44年(1911)以前



王子製紙会社の経営陣(於 王子工場) 明治26年(1893)
公益財団法人 紙の博物館所蔵

明治維新後、渋沢栄一は、あらゆる事業を盛んにするためには、人々の知識を高める書籍や新聞などの印刷物の普及が必要で、そのためには安価で大量印刷が可能な洋紙製造をすべきと考えます。そして、明治6年、抄紙会社(後の王子製紙株式会社 現・王子ホールディングス株式会社の前身)を創立します。

本展では、創立後、幾多の困難に直面した栄一が、悩みながら同社を製紙業界のリーダー的存在として育成し、次代へ引き継ぐ様子を通して、栄一と王子製紙の関わりをご紹介します。



第1号抄紙機(「王子製紙会社略図」より) 村井静馬画 明治10年(1877)

*所蔵明記のない資料は、全て渋沢史料館所蔵
本リーフレット掲載の公益財団法人 紙の博物館所蔵の資料名称は、渋沢史料館が独自につけたものです。

●関連講演会

演 題：日本の近代化における和紙から洋紙への転換の意義

日 時：2013年4月20日(土) 13:30~15:00

講 師：尾鍋史彦氏(東京大学名誉教授、前日本印刷学会会長)

会 場：渋沢史料館 会議室

定 員：40名(事前申込 先着順) 無料(入館券が必要)

往復ハガキか、当館ホームページよりお申込みください。

往復ハガキでお申込みの際は、①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号をご記入のうえ、「渋沢史料館講演会係」までお送りください。1枚につき、2名まで応募可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記のこと。

申込方法

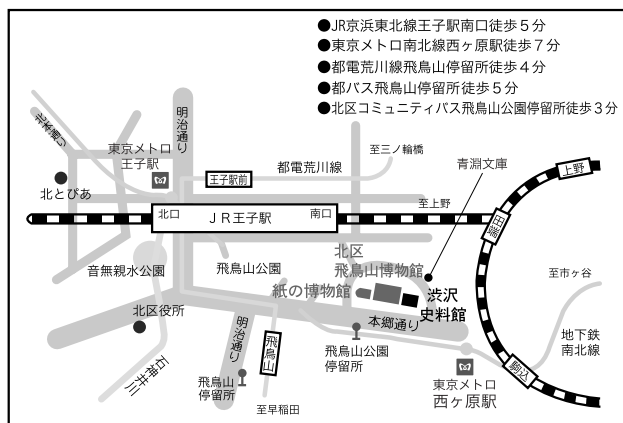
●当館学芸員によるギャラリートーク

日 時：2013年4月28日(日)、5月6日(月・祝)

両日共、14:00~14:30

会 場：渋沢史料館 企画展示室 *申込不要 参加費無料(入館券が必要)

*2013年5月19日(日)に当財団主催で渋沢栄一と近代産業をテーマとしたシンポジウムの開催を予定しております。
詳細は財団HP(<http://www.shibusawa.or.jp>)をご覧ください。



専用駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

今回の展示

収蔵品展『徳川慶喜公伝』と渋沢栄一
会期：2013年6月8日(土)~8月11日(日)



公益財団法人 渋沢栄一記念財団 〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1
渋沢史料館 電話：03(3910)0005
Shibusawa Memorial Museum <http://www.shibusawa.or.jp>

飛鳥山③の博物館 <http://www.asukayama.jp>

紙の博物館 3月16日(土)~5月26日(日) 企画展 創作折り紙 吉澤章作品展

北区飛鳥山博物館 3月16日(土)~5月6日(月・祝) 春期企画展 ボンジュール、ジャポン ゆかしくカワイイ、和のかたちと風景

Tel.03-3916-2320

Tel.03-3916-1133